

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 040	提案機関名 神奈川県酪農業協同組合連合会
要望問題名	ゲノム評価法や最新の繁殖技術を活用した超迅速高品質和牛生産パッケージ技術の実証試験
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】	<p>最近の国際情勢により、県内の畜産農家は過去にない経営環境の悪化に苛まれている。半面、家畜改良の技術は進歩を遂げ、遺伝子の評価により、出生直後でも、成畜になった時の能力が予測可能となった(ゲノム評価法)。従来経済性の高い繁殖和牛群の作出し、県民に和牛肉として出荷するまでには10年以上の期間を要してきたが、OPU等の受精卵移植技術も含め、最新技術の活用により、高能力繁殖和牛群の作出までに数年、そこから得られる肉用和牛の出荷まで数年と、県民のニーズに合わせた和牛生産の生産体系が迅速に組める可能性が高い。</p> <p>そこで、①ゲノム評価法により選抜した付加価値の高い繁殖素牛の購入。②また同様に選抜した雌の性選別受精卵を試験牛に移植し、付加価値の高い繁殖素牛の作出。さらに、上記①②から得られた繁殖雌牛群から、ゲノム評価法を活用し、付加価値の高い受精卵をと場採卵も含めて作成し、試験牛あるいは酪農家の飼養牛に移植、生産された和牛子牛を市場消費の段階まで追い、トータルでの和牛生産経済性を評価し、県内の酪農家あるいは肉用牛農家が利活用できる方法について実証検討をお願いしたい。</p>
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部
対応区分	①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>昨今、ゲノム評価を活用した効率的な育種改良や優良牛群の整備が各地域で進められており、県内の生産者においてもゲノム評価を効果的に利用している事例があります。</p> <p>当所では、ゲノム評価の高い繁殖和牛の受精卵を購入し、産子のゲノム評価を行うことで牛群改良に取り組んでいます。ご提案の内容については早急に対応することはできませんが、ゲノム評価の高い牛が生産された際に各種の繁殖技術を利用して体制整備に努めたいと思います。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			